

「元気印企業」最多700社

九州・沖縄 23年度調査

コロナ禍収束、価格転嫁進み

率が2年連続で前年度比10%増以上▽純利益300万円以上―などごと定めている。23年4月～24年3月に決算期を迎えた企業の単体決算を対象に比較した。

売上高首位はJR九州(福岡市)。新型コロナウイルス禍の収束を受けて鉄道やホテル業の回復が進んだ。2位は、大手向けの水産物販売を伸ばす食品卸コクユー(熊本市)。3位は沖縄トヨタ自動車(沖縄県浦添市)だった。

東京商工リサーチ福岡支社は、2023年度決算で業績を伸ばした九州・沖縄の「元気印企業」を発表した。基準を満たした企業は前年度比119社増の700社で、3年連続増加。売上高の総額は同5164億円増の2兆3471億円と4年連続で増え、いずれも過去最高だった。

県別では、福岡280社(前年度比41社増)、熊本83社(同28社増)、鹿児島77社(同24社増)の順で増加数が多かった。業種別では、全7業種で社数が増えた。半導体関連の設備投資や都市部の再開発を背景に建設業が全体の約36%を占めてトップだった。

同支社の担当者は「コロナ禍からのリバウンドに加え、資材価格や人件費の高騰に伴う価格転嫁が進み業績が好調な企業が増えた」と分析した。(津留恒星)

元気印企業の基準は、年間売上高3億円以上▽増収

九州・沖縄の「元気印企業」上位10社

順位	企業名(所在地)	業種	売上高
1	JR九州(福岡市)	鉄道	2343
2	コクユー(熊本市)	生鮮魚介卸売	989
3	沖縄トヨタ自動車(沖縄県浦添市)	自動車(新車)小売	519
4	積水ハウス不動産九州(福岡市)	不動産賃貸	518
5	welzo(福岡市)	肥料・飼料卸売	495
6	田中藍(福岡県久留米市)	化学工業薬品卸売	442
7	NECプラントエンジニアリング(熊本市)	設備・建築工事	429
8	東プレ九州(福岡県久留米市)	自動車部品製造	410
9	リックス(福岡市)	流体応用機器・装置製造販売	406
10	オーリック(鹿児島市)	酒類販売	355

※売上高は単体、億円。東京商工リサーチ福岡支社調べ